



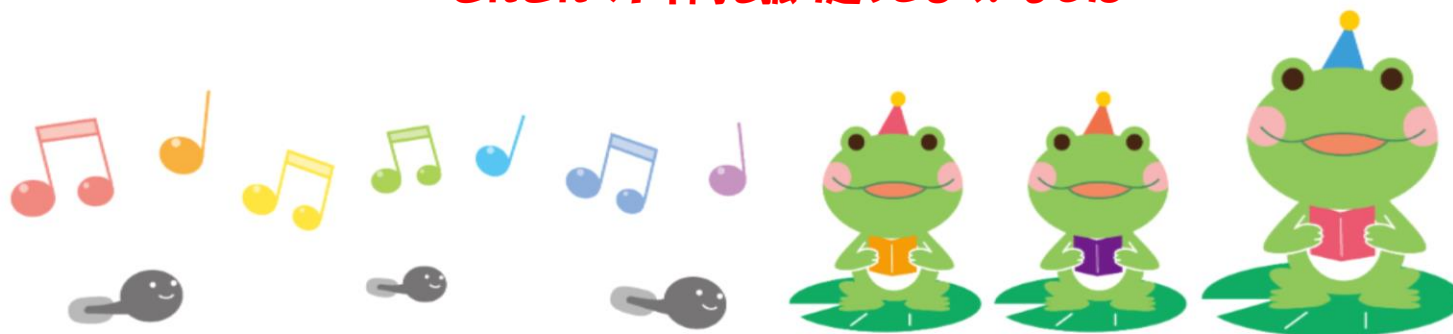
令和元年度おたまたじゃくし日記

令和2年3月

下呂温泉病院に就職して1年が経過しました

6名の新人看護師は成長できたのでしょうか

それぞれの1年間を振り返ってもらいました

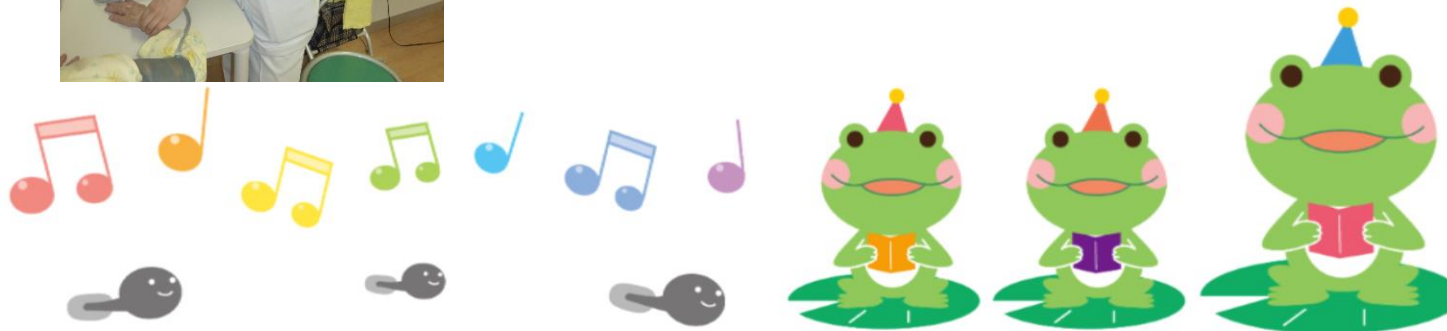


東 4 階 地域包括ケア病棟

初めはついていくのに精一杯だった業務にも徐々に慣れ、患者さんとも深く関われるようになってきました。まだいたらぬ点や分からないことも多々ありますが、一つずつ課題や疑問を解消していけるよう努力していきます。来年度は受け持ち患者さんの退院調整と多職種連携を早期から行えるように取り組みたいです。



一年を通して多くの患者さんと関わらせていただきました。はじめは業務に精一杯になってしまいましたが、徐々に患者さんとの関わりを大切に出来る様になりました。しかし、忙しい日などは業務でいっぱいになってしまうので、今後は忙しい日でも患者さんとの関わりを大切に出来るようになりたいです。

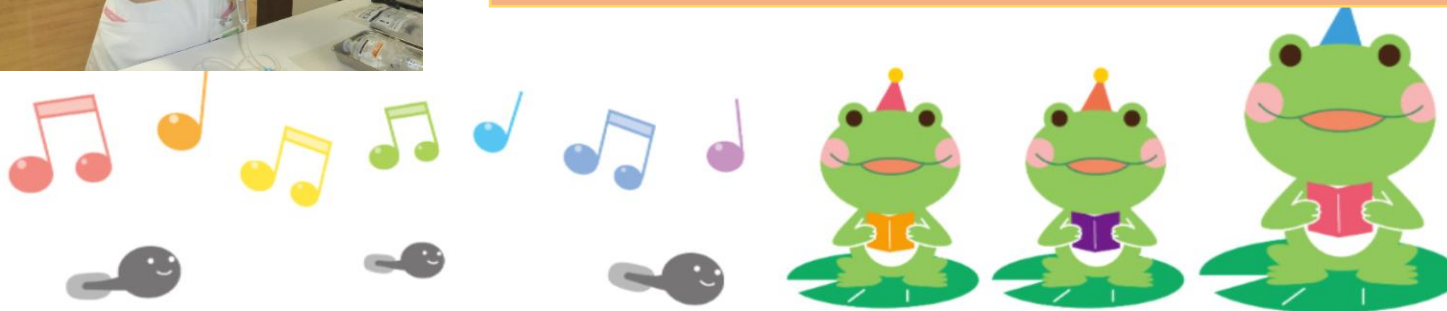


東5階 急性期内科系病棟

緊急性が高い処置や治療が多く、日々業務をすることに精一杯でしたが、少しずつ慣れてきて患者さんに声を掛けながらケアや処置をしたり、優先順位を考えながら業務を行ったりすることが出来るようになりました。これからも積極的にペアの看護師とコミュニケーションをとりながら日々頑張っていきたいです。



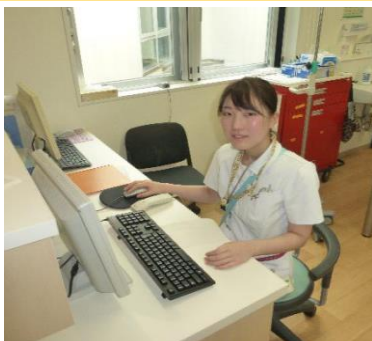
一年間を通して看護師としての責任の大きさを学びました。特に受け持ち患者さんとの関わりから、介入が遅れることで患者さんに不利益が生じてしまうため、早期から関わることが出来るよう行動することや、患者さんの思いを傾聴することが寄り添った看護をするうえで重要であることを学びました。今後の課題として、自分の考えを持ち主体的に行動し、タイムスケジュールを確認・修正して業務を行っていききたいです。



西5階 急性期外科系病棟



最初の頃は業務を覚えることで精一杯でしたが、エルダーをはじめとするスタッフの方々から指導していただき、自立して行える看護技術や業務が徐々に増えてきました。しかし、また知識不足な面や看護師・社会人としての自覚など、未熟な部分も多く見分かりました。2年目に向け、自己の課題と向き合い、患者とその家族の方に、よりよい看護が行えるように日々努力していきたいです。



患者さん・家族・スタッフとの関わりから、コミュニケーションの大切さを学びました。様々な視点や考えに気づくことで、患者さんに合った看護を提供し、同じ目標に向かって取り組んでいきたいです。課題として、患者さんについて様々な職種の方と連携して看護が行えるように情報共有・共通認識を持てるようにしていきたいです。また、知識や技術を深めて、自信をもって責任のある行動がとれるように心がけ、安全・安楽な看護を提供していきたいです。

